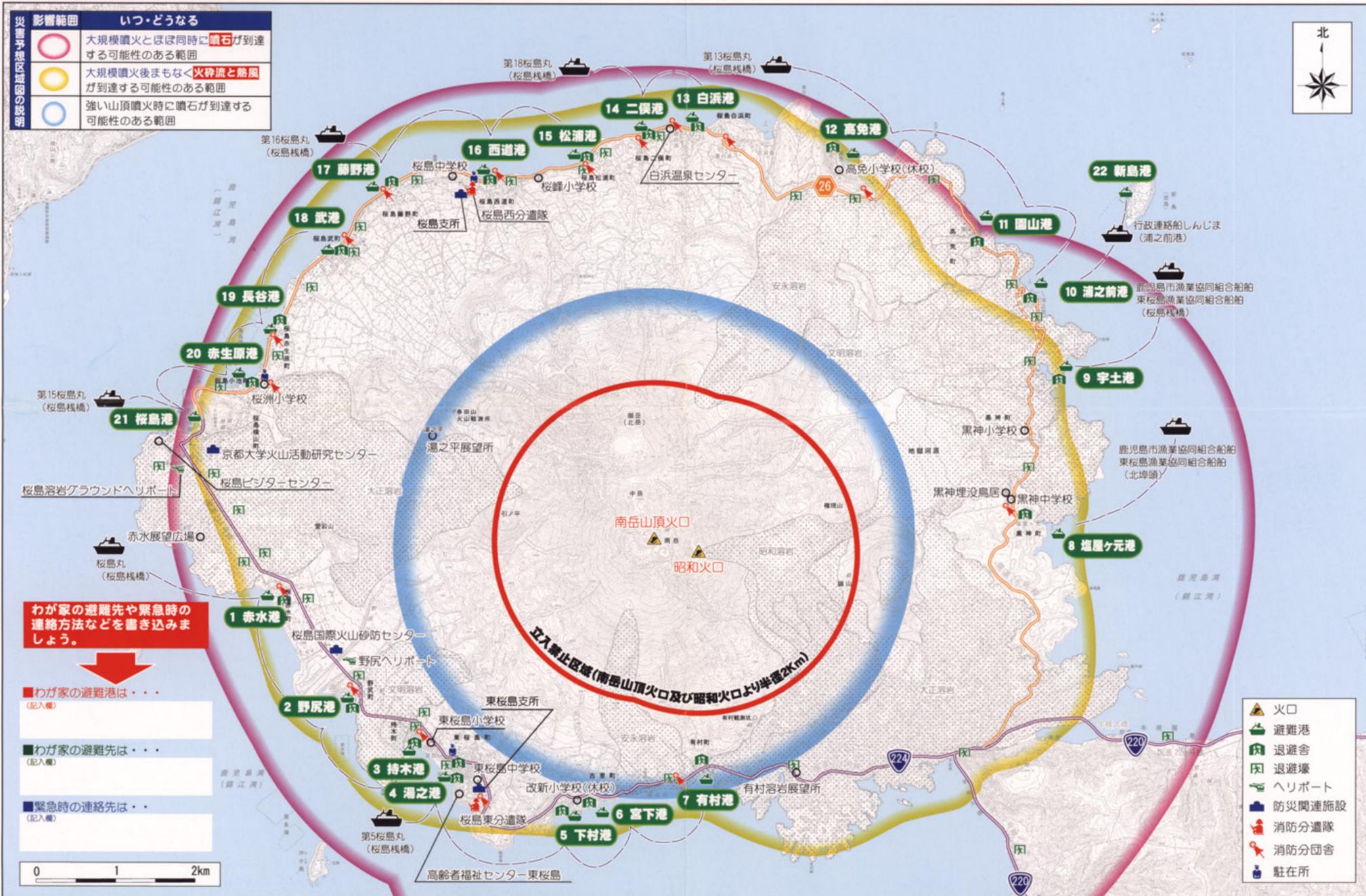


桜島火山ハザードマップ

マップ作成の目的

この桜島火山ハザードマップは、住民の皆様が桜島の過去の大规模噴火の状況や今後の火山災害の危険性を事前に把握し、日頃の備えや緊急時の速やかな避難に役立てていただくために作成したものです。日頃から目につくところに掲示してください。地域の皆様で緊急時の行動を話し合い、前兆現象や噴火状況に注意しましょう。



わが家の避難先や緊急時の連絡方法などを書き込みましょう。

■わが家の避難港は・・・ (記入欄)

■わが家の避難先は・・・ (記入欄)

■緊急時の連絡先は・・・ (記入欄)

- ▲ 火口
- ▲ 避難港
- ▲ 退避舎
- ▲ 退避壕
- ▲ ヘリポート
- ▲ 防災関連施設
- ▲ 消防分遣隊
- ▲ 消防分団舎
- ▲ 駐在所

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21東報第660号)」

前兆現象

- 地震を一日に何度も感じる
- 地鳴りがする
- 井戸水、温泉の水位や温度などがいつもと違う
- 新しい噴気、地温の上昇、地割れ
- 草木の立ち枯れ、動物の異常行動 など

異常現象があれば、通報先に連絡を。

通報先

鹿児島市	桜島支所	099-293-2345
	東桜島支所	099-221-2111
	安心安全課	099-216-1213
消防	119番	
	桜島西分遣隊	099-245-2099
	桜島東分遣隊	099-221-3119
警察	110番	
	東桜島駐在所	099-221-2053
	桜島駐在所	099-293-2702
	西桜島駐在所	099-293-2071
気象台	観測予報課	099-250-9916

避難勧告等の情報伝達

噴火警戒レベル	レベル4	レベル5	
	避難準備情報	避難勧告	避難指示
内容	大災害が発生することが予想されるので、避難の準備をしてください。	大災害が予想され、危険が近づいているので、避難してください。	大災害の発生が確定となり、危険が迫っている、または大災害が発生したので、避難しなければなりません。
へ市からの情報	防災行政無線、消防車両、テレビ・ラジオ等でお知らせします。		
へ住民の行動	<ul style="list-style-type: none"> 避難の準備をします。 非常持ち出し品の確認 家族の居場所の確認 避難先の確認 お年寄り、入院患者等の災害時要援護者は早めに避難します。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸締り、火の始末をします。 非常持ち出し品、避難カードを持ち、徒歩で避難港に集まります。 船舶で安全な場所に避難します。 注)地区を限定した島内避難も想定されますので、市からの情報に注意してください。 	

避難手順

桜島島外避難(全地域) >>>

鹿児島市 避難勧告等 → 誘導責任者(消防分団) 誘導担当者(消防分団) 住民 → 徒歩避難 → 避難港 避難港 避難港 避難港 → 避難港 避難港 → 桜島橋北埠頭 避難バス → 桜島爆発避難所(市街地側)

■ 避難港、避難先一覧表

地域名	避難港	避難先	地域名	避難港	避難先
1 桜島赤水町	赤水港	鹿児島玉龍高校	10 高免町浦之前	浦之前港	長田中学校
2 野尻町	野尻港	鹿児島中央高校	11 高免町西園山	園山港	園山港
3 持木町	持木港	鹿児島中央高校	12 高免町高免	高免港	大龍小学校
4 東桜島町	湯之港	名山小学校	13 桜島白浜町	白浜港	大龍小学校
5 古里町西	下村港	中央公民館	14 桜島二保町	二保港	甲東中学校
6 古里町東	宮下港	山下小学校	15 桜島松浦町	松浦港	松浦港
7 有村町新	有村港	松原小学校	16 桜島西道町	西道港	清水中学校
8 黒神町宇土	宇土港	城南小学校	17 桜島藤野町	藤野港	天保山中学校
			18 桜島武町	武町港	鶴丸高校
			19 桜島赤生原町	長谷港	鹿児島玉龍高校
			20 桜島小池町	赤生原港	城西中学校
			21 桜島横山町	桜島港	城西中学校
			22 新島町	新島港	長田中学校

噴火警戒レベルと防災対応

レベル	火山活動の状況	防災対応
5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。(可能性が高まっている)	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。
3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止や入山規制等。住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。
2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。住民は通常の生活。
1 (平常)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる。	状況に応じて火口内への立入規制等。

桜島では火口から半径2キロ以内は常時立入禁止

過去の4大噴火の概要と近年の主な噴火活動

■ 溶岩流下範囲

- 文明噴火
- 安永噴火
- 大正噴火
- 昭和噴火

文明噴火 1471年に北東側から溶岩流出、大燃崎(黒神)を形成。1476年に大爆発、南西側から溶岩流出、燃崎(野尻)を形成。

安永噴火 安永8年(1779年) 南側・北東側の山腹から噴火、溶岩流出。死者148名。北東で海底噴火、新島等を形成。

大正噴火 大正3年(1914年) 西側・東側の両山腹から噴火。流出溶岩により、大隅半島と陸続きに。火山灰はカムチャツカ半島、小笠原諸島に達した。薩摩半島で震度6弱の大地震発生。死者・行方不明者58人。

昭和噴火 昭和21年(1946年) 東側(昭和火口)から噴火。流出した溶岩は黒神・有村の海岸まで達した。黒神地獄河原を形成。死者1名。

昭和30年(1955年)以降の噴火 南岳山頂火口から噴火。昭和35・58・60年には年間400回以上の爆発。降灰や火山れき、土石流などにより生活に大きな被害。平成18年に昭和火口から58年ぶりに噴火、徐々に活発化。

桜島の火山災害現象

噴火時に岩の破片や軽石が火口から飛び散ります。とくに火口から数kmの範囲に多く飛び、時には直径1m以上の大きな石が飛んでくることもあります。

火砕流 マグマが火口からあふれて、斜面を流れ下ります。速度は遅いが、通り道は溶岩に焼きつくされ、埋もれてしまいます。(写真は1986年伊豆大島)

土石流 山の斜面に火山灰が積もると、その後の雨によって発生しやすくなります。

降灰 火山灰が風に流されて降り積もります。半径20km以内では厚さ1m以上になることがあります。

地震 大規模噴火に伴い鹿児島市及び周辺地域で震度6程度の強い地震が起きる可能性があります。

■ 桜島監視カメラ <http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi>

大隅河川国道事務所のホームページより、桜島の監視カメラ映像をご覧いただけます。

NTT災害用伝言ダイヤル 171

このマップに関するお問い合わせ先 鹿児島市安心安全課 TEL 099-216-1213

平成22年3月 鹿児島市発行